

様式第6号（第20条関係）

令和3年6月30日

佐賀県知事 山口祥義 様

佐賀県佐賀市神園四丁目7-14
特定非営利活動法人きゃんどうるハート
理事長 永瀬 千枝

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

2020年8月13日付け県協第925号及び2021年1月29日県協第2027号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

年度寄附金活用実績報告書

事業名	①産前・産後ケア事業の充実・拡大事業 ②新規事業展開の体制整備による基盤創り事業
寄附受入額	9,137,500円
事業内容(いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	
1. 産前・産後ケア事業の充実・拡大事業	
(1) ストレスケアの推進のためのキャンペーン実施	
■期間:2020年8月～2021年3月	
■場所・会場:佐賀県三養基郡みやき町大字白壁2470-2 みやき町産前産後サポステーション	
■参加者:みやき町及び近隣市町村の市民・町民を対象	
■事業の要旨と実施内容	
体内に発生しているストレスを鎮め、脳内に溜まった疲労を解消・軽減することを目的として実施しているストレスケア(ホメオストレッチ)をみやき町町内のみではなく、広く近隣市町村へ普及することを目的として、キャンペーンを実施。	
●ホメオストレッチ ¥3,000チケットを販売 1,000×3回(1セット)×15名 計46回実施。 ※通常 ¥2,000をキャンペーン価格で実施 コロナ禍の為みやき町民限定にはなったが、産後ママを初め、子育て中のママ、おばあちゃん等に施術を受けて貰うことができた。	
●母親のストレスケア講座の広報活動(チラシ配布10,000枚等) ストレスケア、ホメオストレッチについて、多種のチラシを作成し、佐賀県内中に広く情報発信し、利用者の拡大を図ることを第一の目的とし、ストレスケア、ホメオストレッチの普及に繋げた。	
2. 産後両親クラスの運営	
■期間:2020年9月～2021年3月 3回実施	
■場所・会場:佐賀県三養基郡みやき町大字東尾6436-2 こすもす館	
■参加者:みやき町町民(両親)を対象(コロナ禍の為 みやき町民限定)	
■事業の要旨と実施内容	
子どもが生まれてから発生する様々な疑問への対応及び子育てに大切なお話を両親にお伝える活動を展開。内容としては、抱っこ・おんぶ・ベビマ・月齢に合わせた育児の工夫、お母さん・お父さんの身体の仕組みについて、助産師からの話を通して、産後だからこそ感じる思いをご夫婦で吐き出し、又、他の夫婦のお話を聞くことで、お互いへの思いやりが大事であることを再確認して頂くなどの活動を展開した。	

3.新規事業展開のための体制整備と事業展開準備

●新規事業計画～

- A 産前産後サポートステーション(みやき町からの委託事業のあり方の変更)～
- B ストレスケアステーションの開設
- C 子育て家庭サポートステーションの開設 (利用者支援事業の受託)
- D メディカルコミュニティセンター(みやき町施設)の利用者対象の託児サービス

A 産前産後サポートステーション委託事業のあり方の変更～

従来、町の事業としての運営体制において、みやき町の協力により、町事業の運営に人員を派遣して運営しているような処理体制から、完全に独立すべく、本来の委託業務のあり方に変わることが明確になり、そのための体制づくりを進めた。

内容としては、組織運営によるガバナンス強化から、効率的かつ確実な胥吏によって、寄附をはじめとした期待に応えること、活動目的の確実な達成のために、PDCAサイクルを構築することを目的として、その基盤となる様々な規程整備から運用の仕組みを整えた。

●組織体制の整理 ●規程、マニュアル等の整備 ●研修の実施 ●OJTによる実践指導など、さまざまな工夫による取り組みを進めたが、法人・事業所・職場・職員一人ひとりの理解と認識が共通理解の基に構築しなければ、効果的なサイクルは創れない。

まだまだ努力が必要なところも多々あり、これからも全員で研鑽を深めねばならない。

B ストレスケアステーションの開設

令和3年7月～のみやき町メディカルコミュニティセンターでの新規事業として、ストレスケアステーションを開設するため、そのための準備を進めた。

具体的な事業展開は、令和3年7月からとなるが、拠点となる施設の構想をメディカルコミュニティセンターの施設の建設段階から計画に参加し、基本計画準備を行った。

具体的な実施

- 準備の時期・・・令和3年5月～6月(7月オープンに合わせて搬入準備)
- 主な備品・・・施術用ベット・いす・机・キャビネット・ロッカー等
- 事業展開準備・・・パンフレット・ホームページ・帳票類の整備・研修の実施・広報活動等

C 子育て家庭サポートステーションの開設 (利用者支援事業の委託)

みやき町からの委託事業として、利用者支援事業(基本型)を展開する。

そのために必要な備品類の整備を行うものとして計画した。

- 準備の時期・・・令和3年5月～6月(7月オープンに合わせて搬入準備)
- 主な備品・・・机・いす・キッズスペース備品等
- 事業展開準備・・・パンフレット・ホームページ・帳票類の整備・研修の実施・広報活動等

D メディカルコミュニティセンター(みやき町施設)の利用者対象の託児サービス

みやき町メディカルコミュニティセンターにおける施設利用者の託児について、当法人が担うこととなり、前記の利用者支援事業と合わせて、子育て家庭支援サポートステーションにて託児を行う。そのための必要な備品類の整備を計画した。

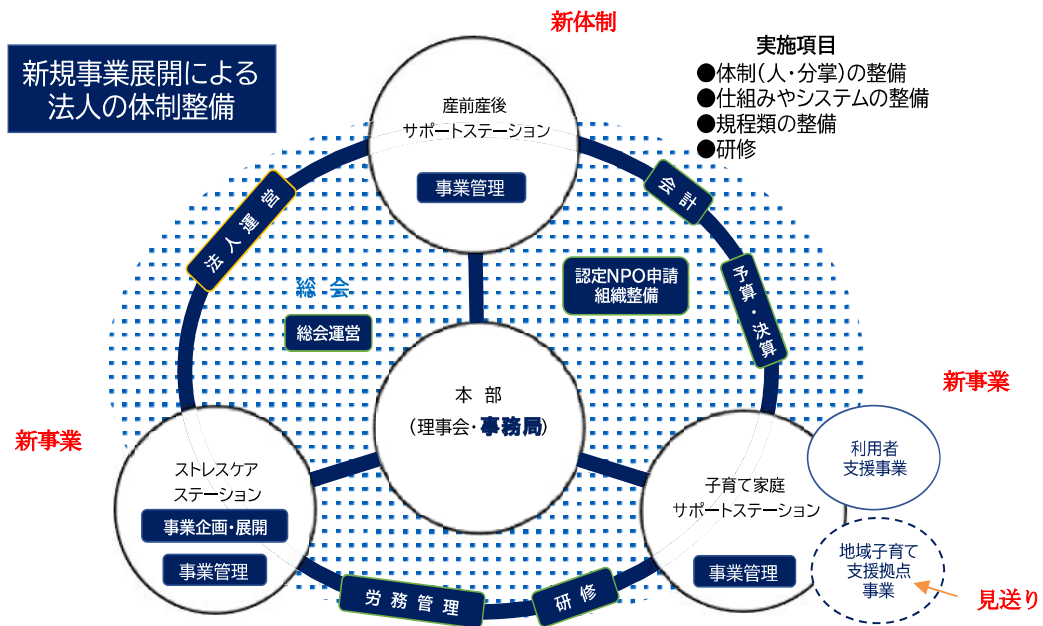
- 準備の時期・・・令和3年5月～6月(7月オープンに合わせて搬入準備)
- 主な備品・・・ベビーベット・キッズコーナーマット・絵本棚等

- 事業展開準備・・・パンフレット・ホームページ・帳票類の整備・研修の実施・広報活動等

以上のとおり、新規事業展開のための基本準備と、それを実施するための体制整備が確実に進められる成果が得られた。

令和3年度、寄せられた寄附金活用により、具体的な準備を展開する。

【計画】



- 実施の時期・・・令和2年11月から具体的整備を展開。みやき町との契約などの調整を進めつつ、令和3年4月～7月の実施に向けた整備を行った。

- 主に、運営管理のためのシステム整備と業務分掌による事業の実施展開を目指す。

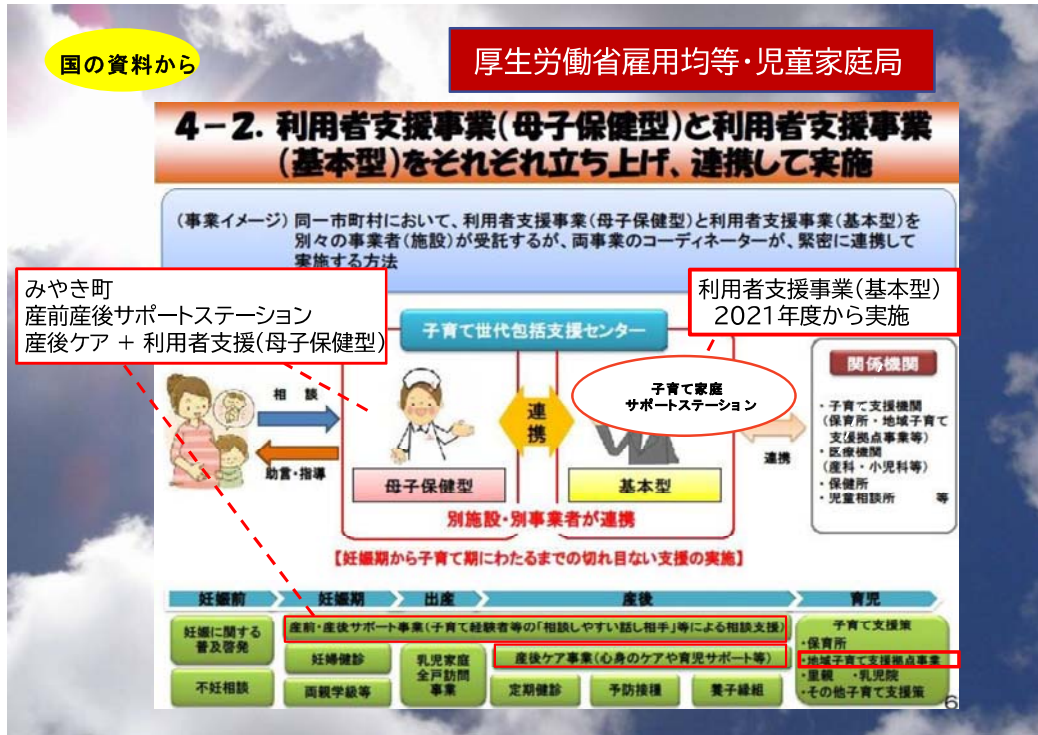
以上、新規事業展開のための体制構築と事業展開準備については、寄せられた寄附金による支援によって、当初計画に添って着実に進めることができている。

新規事業の具体的な事業開始となる7月に向けて、さらに充実した活動を実践展開します。

事業実施の成果・効果（見込み）

1. 産前産後サポートステーションと子育て家庭サポートステーションの連携

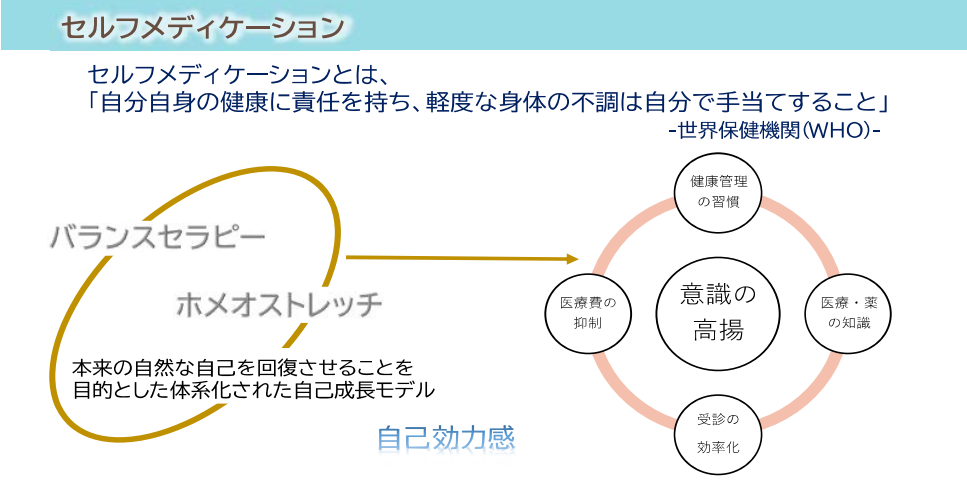
厚生労働省が掲げる「利用者支援事業の「母子保健型」（産前産後サポートステーションで実施）と「基本型」（子育て家庭サポートステーションで実施）の連携は、当法人独自の取り組みとして実践することが可能である。



この重要な役割を担う法人として、内部の連携体制を構築することで、地域社会の連携構築の中心となって事業展開を図る。

2. 家庭のストレスケアステーションが果たす役割

ストレスケアステーション実践展開の背景として、「子育ての視点から（母親）」そして、「ストレスチェック制度の義務化から（労働者・職場・地域）」に着目し、本事業において、個人から家族、そして地域、社会全体の健やかな発展を目指すものとして、2021年度にオープンする「みやき町メディカルコミュニティ」において基幹事業に位置付けられている「セルフメディケーションの浸透」に、ストレスケアが果たす役割の重要性が大であると確信する。



2. 企業をはじめとした職場への展開

今後展開する「家庭のストレスケアステーション」が目指す成果として、事業計画に掲げているとおり、職域への展開を充実していきたい。

労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度によって、労働者数 50 人以上の事業場が義務化(50 人未満努力義務化)され、社会全体の取り組みが始まったことから、ストレスの程度を把握し、ストレスへの気付きを促すとともに、職場改善につなげ、働きやすい職場づくりを進めることで、メンタルヘルス不調となることを未然に防止すること（一次予防）が主な目的であるが、新型コロナウイルスの脅威が増す中、これからの社会において、ストレスケアは、職場や家庭、様々な生活の中で欠かせないものとなると確信する。

これまで、産前産後サポートステーションの運営において、「産後うつ予防ならびに育児ストレスの緩和」を目的として、ホメオストレッチを行ってきたが、今後は、みやき町の、ひと・ちいき・まちの健幸をめざす包括交流拠点として整備されるメディカルコミュニティセンターの中で、企業や地域の人々の健康に対する意識改革、医療費負担の軽減等、地域のストレスケアに努めていく。

セルフメディケーション

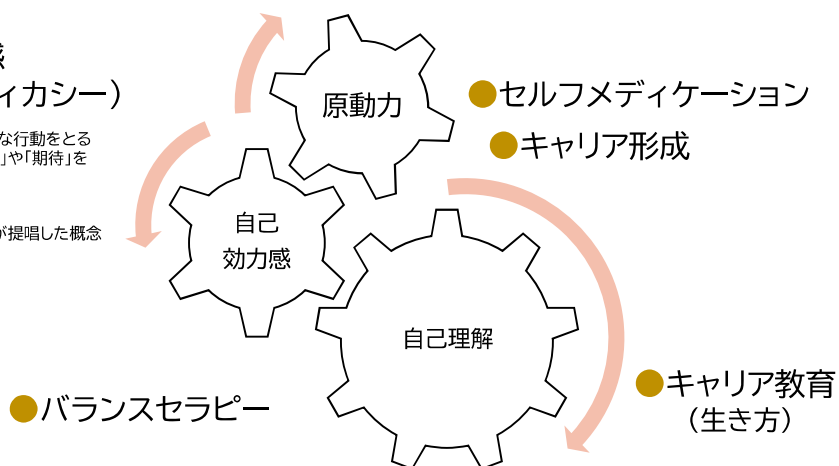
自己効力感

自己肯定感

●自己効力感 (セルフ・エフィカシー)

ある状況下で自分は適切な行動をとることができるという「自信」や「期待」を意味します。

カナダの心理学者
アルバート・バンデュラが提唱した概念



【目標】

- ホメオストレッチ施術の利用者数・・・100人/月
- ストレスケアセミナー他、セミナー受講者数・・・700人/年
- 企業のストレスチェック制度との連携・・・10社/年

以上、新規事業展開の開設準備～実践展開に至る重要な局面において、佐賀県ふるさと寄附金による「NPO等を指定した支援」については、大変効果のあるものであり、今後の展開において貴重な礎を築くことに大きく反映することができました。

今後も、NPOを支援する目的を十分に認識し、職員一人ひとりの自覚と共に組織を挙げて、貴重な支援に応えていきたいと存じます。

※備品整備等については、令和3年度に入ってからの実施として、令和3年度実績報告にあわせて報告いたします。

(様式第6号 別紙2)

収支決算書

事業名		①産前・産後ケア事業の充実・拡大事業 ②新規事業展開の体制整備による基盤創り事業	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	9,137,500	
	参加費	58,000	HS キャンペーン・産後両親学級参加費
		収入 計	9,195,500
支 出	人件費	436,020	
	旅費交通費	9,922	
	通信費	63,412	
	消耗品費	2,969	
	会場使用料	4,500	
	一般管理費	151,725	
	返礼品等の調達に係る費用	2,813,710	
	返礼品等の送付に係る費用	578,726	
	広報に係る費用	58,930	
	事務に係る費用	270,304	
	繰越金	4,805,282	
		支出 計	9,195,500